

# 下水道の「見える化」に向けた取組み

－ 下水道のPR活動 －

## 下水道の「見える化」とは

下水道施設の多くは地中にあり、「見えにくい」ことから、日々の暮らしの中で、下水道を意識する機会はありません。一方、下水道は、暮らしや環境にとって、また災害があっても24時間欠かすことのできない重要なインフラの一つであり、円滑に維持管理を行う上でも、県民の方の理解・協力が不可欠な公共事業です。「見える化」は下水道の役割や重要性を県民の方に知ってもらうPR活動などの取組みです。

## 主な取組み

### 次世代を担う子供たちに下水道にふれる機会を提供

#### 夏のアクア施設体験ツアー

- 小学生と保護者を対象に、下水処理場の見学や水辺の環境体験学習を実施。
- ⇒ 下水道の仕組みや処理場の仕事、水の大切さなどにふれる機会を設けています。
- ▷ ツアーには延べ100人近くが参加

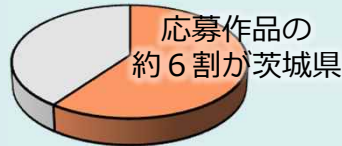
#### 茨城県下水道促進週間コンクール

- 昭和51年から継続して、県内の小中学生を対象にポスターや作文、標語など、下水道に関する作品を募集。作品は全国の下水道コンクールにも応募。
- ⇒ 多くの小中学生に、下水道のことを考えてもらうきっかけになっています。



▷ 5万点を超える応募作品 (全国1位)

▷ 全国コンクールでも数多く入賞



全国の応募総数 91,939点



R1 国土交通大臣賞

### 下水道の接続率アップやマナー向上のため、特色あるキャンペーンを実施

- 下水道のイメージアップのための広報協力員「いばらき 水の天使」

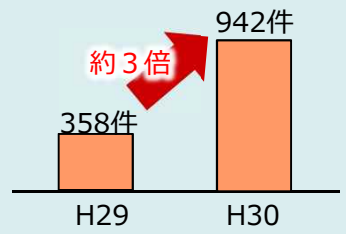


H27から活動 (R3より4期生が活動)

- 各種キャンペーンチラシ発行



▷ 下水道接続件数が大幅アップ!



H29 H30 接続支援事業の申請件数

### 話題のデザインマンホールで、下水道の魅力を発信

#### 茨城県マンホール蓋展

- 全国的にも珍しい、50枚を超える県内市町村のデザインマンホール蓋を一斉展示。
- ⇒ マンホール蓋で、下水道の魅力を伝えています。
- ▷ 開催期間中の来場者数累計 17,600人 (12日間) (県外からも多くの見学者が来場)

